

梅若会 緑鷹会 演能会



親子・兄弟・孫

鷹尾家三代による能公演

能
百萬

法楽之舞

能
石橋

大獅子



鷹尾維教



田中佑京



鷹尾章弘



鷹尾雄紀

他
声明公演・狂言・仕舞



令和7年5月25日(日)

会場：大濠公園能楽堂
TEL 092-715-2155
福岡市中央区大濠公園 1-5
開演：12:00 (開場 11:30)
入場料：全自由席
大人 11,000 円
高校生・大学生 3,000 円

※学生証や生徒手帳など、学生の身分が証明できるものをご持参ください。
※未就学児から中学生までは無料でご覧いただけます。

チケット予約 公演内容などのお問い合わせ方法

- ① 電話 TEL 092-711-8005 (FAX 兼)
- ② メール takanokai2017takao@gmail.com
- ③ LINE 左の QR コードを読み取り



「薬院鷹の会能舞台～BAR 愛鷹～」を
友だち登録してトーク画面からご連絡ください。

大濠公園能楽堂ロビーにて、鷹の会をご支援いただいている企業や、文化交流のための展示ができるよう準備を進めています。



鷹の会
公式ホームページ

主催：梅若会・株式会社鷹の会 福岡市中央区薬院 2-8-5 HP <https://takanokai.jp/>
後援：緑鷹会・緑中会・緑英会・安藤皮膚科医院・看公税理士法人・(株)大興社
(株)明治産業・ヤマシタヘルスケアホールディングス(株)・山田工業(株)

声明(しょうみょう)とは

法要儀式に際し、経文や真言に
旋律抑揚を付けて唱える仏教声楽曲です。

伝教大師最澄が中国(唐)に渡り日本へ天台の教えを伝えたおりに、
声明も伝えられましたが、これを体系的に伝えたのは
慈覚大師円仁(えんにん 794~864)です。

その後、良忍(りょうにん 1073~1132)により京都大原に声明の道場
(魚山ぎょざん)が開かれ、ここを中心に天台声明は伝承されてきました。
平安時代には声明と雅楽・舞楽との合奏曲もつくられ、浄土信仰とも重なり
盛んに奏されたといえます。現在でも天台宗ではほとんどの法要に
声明は使われ、また舞楽法要などは伝統音楽として公演公開されています。

第一部

社中の方による発表会
十一時始

連吟	八島	杜若	仕舞	雲雀山	卷絹	柏崎	富士太鼓	網之段
桑野 啓	墨野 延峰	宮原 謙治	太田 耕子	黒岩 延峰	田代 研児	樋口 久人	山下 尚登	山下 尚登
樋口 久人	山下 尚登	鶴 辰巳	向坂 邦子	鷹尾 雄紀	鷹尾 章弘	鷹尾 維教	鷹尾 維教	鷹尾 維教
多 久 島 隆	多 久 島 隆	山 村 晃 司	太 田 耕 子	鷹 尾 章 弘	鷹 尾 章 弘	鷹 尾 維 教	鷹 尾 維 教	鷹 尾 維 教
宮 原 謙 治	山 村 晃 司	田 代 研 児	田 尻 祥 知 子	角 当 直 隆	角 当 直 隆	角 当 直 隆	角 当 直 隆	角 当 直 隆

第二部

能公演
十二時開演(有料)

はじめに本日の演目をわかりやすく解説します

声明

九條錫杖
諸天漢語讚

天台宗九州東教区仏教青年会
天台宗聲明兵庫社会奉仕會

能

百萬 法楽之舞

田中佑京
鷹尾維教
御厨誠吾
白坂保行
幸 正佳
吉谷 潔
森田 光次

狂言

泉山伏

野村万緑
杉山俊広
吉良博靖

仕舞

高砂
野宮

梅若景英
梅若紀彰
松山隆之
馬野正基
角当直隆
坂真太郎

能

石橋

鷹尾雄紀
鷹尾章弘
御厨誠吾
白坂保行
幸 正佳
吉谷 潔
森田 光次

吉住講

山中遼晶
山崎友正
馬野正基
坂真太郎
梅若紀彰
鷹尾維教
長島 充
山崎正道

午後四時頃 終了予定

九條錫杖(くじょうしゃくじょう)

錫杖とは、僧侶・修験者の持つ環の付いた杖のことで、
元々は山野を修行する時振り鳴らして毒蛇や害獣を払うための
法具です。お地藏様が持っている杖も錫杖です。
九條錫杖には錫杖を持って三寶(仏・法・僧)を供養したり、
修行して人々を導くこと、錫杖の首の持つご利益などが説かれています。
天台宗では、密教法要の際にお唱えすることが多い声明です。

諸天漢語讚(しよてんかんどさん)

仏教を守護してくださる天部(神々)を賛讃する声明曲です。
有名な天部としては、帝釈天、毘沙門天、弁財天など。
四拍子の曲で、祈願法要などでよくお唱えされます。

百萬 法楽之舞(ひゃくまん ほうらくのまい)

一生き別れた子との再会を祈る百萬の舞の数々

大和国吉野の者が奈良西大寺あたりで拾った幼子連れて
嵯峨の大念仏に参詣すると、一人の狂女が出てきて念仏の
音頭を取り、我が子に会いたいと狂い舞う。幼子が見て、
あの狂女こそがわが母であるというので、狂女に故郷を尋ねると
「私は奈良の百萬という者で、夫と死別した上に一人子まで
生き別れたので、このように心が乱れたのです」と答え、
なおも法楽の舞を舞って我が子に会わせ給えと祈る。
あまりに労しく思ってその子を引き合わせると、狂女は深く喜び、
仏の功德に感謝して母は子連れて奈良の都に帰る。

石橋 大獅子(しゃっきょう おおじし)

一咲き乱れる牡丹と華麗に舞う二頭の獅子

大江定基が出家して寂昭法師と号し、入唐渡天して仏跡を排み廻り、
清涼山に来て石橋を渡ろうとすると、一人の翁が出て、
この橋は昔の高僧すら難行苦行した後に初めて渡る橋で、
容易に渡るべきものではないと諫め、橋の謂れなどを語り
「向かいには文殊の浄土で今に奇特が現れるだろう、暫くお待ちなされ」
と言って立ち去る。その言葉通り暫くすると
牡丹の花を分けて獅子が現れ、雄壮華麗な獅子舞を演じて見せる。

チケット予約
公演内容などのお問い合わせ方法

- ① 電話 TEL 092-711-8005 (FAX 兼)
- ② メール takanokai2017takao@gmail.com
- ③ LINE 左のQRコードを読み取り



「薬院鷹の会能舞台~BAR 愛鷹~」を
友だち登録してトーク画面からご連絡ください。



鷹の会
公式ホームページ